

# ざんぐり



域活動行事予定  
清水焼の郷 絵付け体験 7月24日(金)開催

◆表題 芒種（ぼうしゅ）とは：二十四節気の第9番目（6月6日頃）稲や麦など芒（のぎ）のある穀物の種をまく時期のこと。蛍のシーズンやアジサイが見頃を迎える時期でもあります。

・ 会長挨拶	2	・ 令和8年度予算	9
・ 令和8年度役員・SKY大学運営員紹介	3	・ 総会講演会報告	10
・ 令和7年度行事報告	4	・ 特別講座「認知症になったとしても」	11
・ 令和7年度業務報告	5	・ 新春バス研修旅行報告	12
・ 令和7年度決算報告	6	・ ミニ講座水族館報告	13
・ 令和8年度行事計画	7	・ Small talk room	14、15
・ 令和8年度業務計画	8	・ 事務局だより	16



# 就任のごあいさつ

会長 木村 高志

このたび、皆様のご信任により会長を拝命いたしました。まずは、このような大役をお任せいただきましたことに心より感謝申し上げます。

同窓研は、研修講座、研修バス旅行、地域再発見の散策、健康ウォーキングなど、多彩な活動を通じて、30数年にわたり着実な歩みを重ねてまいりました。今日の本会の姿は、設立以来、運営に尽力されてきた先輩方のご努力と、長年にわたり参加を続けてこられた会員の皆さまの支えがあってこそ築かれたものです。あらためて深い敬意と感謝を表します。

私は、これまで先輩方が大切に守り育ててこられた本会の理念や良き伝統をしっかりと受け継ぎながら、時代の変化にも目を向け、新しい企画や工夫にも取り組んでいきたいと考えております。また、その取り組みや経験を、次の理事の皆さんへと円滑に引き継ぐことも、私に与えられた重要な役割の一つであると受け止めています。

また、皆様の思いが繋がる場として機関誌「ざんぐり」の投稿欄を充実させ、「読んで楽しい」「次は何に参加しようか」と思える様な機関誌の誌面作りに取り組みます。



私自身、吃音があり、人前で話すことが得意ではありません。思いを十分にお伝えできない場面もあるかと存じますが、その分、会員の皆さまの声に真摯に耳を傾け、

理事会や各専門部の皆さまと丁寧に意見を交わしながら、合意を大切にしながら運営に努めてまいります。

微力ではございますが、皆様からお寄せいただいたご信任を大きな力とし、理事会および各専門部と緊密に連携しながら、本会のさらなる充実と発展に誠心誠意取り組んでまいります。

会員の皆さまとともに学び、歩み、支え合いながら、本会が今後も京都 SKY センターに根ざした存在として親しまれ続けるよう、この一年を全力で努めてまいります。

今後とも、変わらぬご理解とご協力を心よりお願い申し上げます。



## プロフィール

仕事が一段落した10年ほど前、新聞でシニア大学の案内のチラシを目にして即入学。

コース委員を経験したことで、今までとは異なる人達との出会いが始まりました。

多くのサークルに参加し、立ち上げにも携わり（手話・囲碁・シルバーヨガ・軽登山・腹話術・紙芝居・筆ペン等々）活躍しています。

「一歩でも半歩でも踏み出し、  
今できることを何でもやる」  
を信念として。

## 令和8年度 京都SKY大学同窓研修会 役員名簿

(19名 50音順)

敬称略

役職名	氏名
会長	木村 高志
副会長	岩本 照美 志垣 幹夫 西峯 順子
会計	村田 潤子
理事	伊勢田 龍雄 金子 功 亀山 みさ子 小島 哲三 小林 静枝 中曾 偉人 西崎 久美子 八田 留美子 丸山 恭一 元栄 隆仁 森下 一典 吉村 辰江
顧問 相談役	井上 昌幸 山本 建三
監事	関矢 幸子 吉田 進

## 令和8年度 京都SKYシニア大学 運営員名簿

コース名	開催日	氏名
京都SKY大学同窓研修会 企画・運営（修了生対象）		
新・京都見聞	水・午後	西峯順子、小島哲三、村田潤子
		志垣幹夫、八田留美子、丸山恭一
京都SKYシニア大学		
アクティブシニアライフ	火・午前	西崎久美子、木村高志、吉村辰江
歴彩・京都学	火・午後	岩本照美、森下一典、金子功
健康長寿	水・午後	中曾偉人、山本建三、元栄隆仁
スポーツ	水・午後	伊勢田龍雄、亀山みさ子

## 令和7年度 行事報告

部 門	行 事 内 容	参 加 者	
研修講座	① 令和7年4月25日（金） 演題：「ある禅寺の日常 大徳寺納豆作りも大切な修行」 講師：大当寺塔頭 瑞峯院 住職 前田 継道 氏 会場：ハートピア京都3F 大会議室	50名	
	② ミニ講座		
	・ 令和7年6月27日（金） 会場：お茶と宇治のまち交流館「茶づな」 「茶席の体験から茶臼での抹茶づくり体験」	13名	
	・ 令和7年10月1日（金） 会場：京都市青少年科学センター 「ふれあいサイエンス」3 講師：京都市青少年科学センター展示係長兼天文係長 中井祥平氏	33名	
	・ 令和7年10月24日（金） 会場：京都府立植物園 「ようこそ秋の植物園へ」4 講師：京都府立植物園公認ガイド 青木壽子氏	25名	
	・ 令和7年11月7日（金） 会場：京都市動物園 「ようこそ動物園へ」4 講師：京都市立動物園副園長（兼 生き物・学び・研究センター長） 田中正之氏	33名	
	・ 令和8年1月31日（金） 会場：京都水族館 「ようこそ水族館へ」2 講師：京都水族館副館長 河崎誠記氏	22名	
	③ 京都見聞・こぼれ話発行 年4回 6月「丸太町通りから堀川通り」 9月「琵琶御疎水」 11月「二条城が輝いていた時」 3月「JR二条駅の西周辺を歩いてみると」		
	研修旅行 (3回/年)	① 令和7年5月9日(金) 豊岡コウノトリ文化館、出石城下町 特別天然記念物コウノトリの生息と保護の様子を見学、但馬の小京都出石を散策	47名
		② 令和7年11月2日(金) 関西国際空港 岸和田市 「関空の裏側探検」、だんじり祭りの岸和田城址とだんじり会館見学	47名
③ 令和8年1月30日(金) 赤穂方面 赤穂大石神社で新春初詣、赤穂城址見学、赤穂市立海洋科学館で塩田見学と塩造り体験		48名	
健康福祉	① ウォーキング		
	・ 令和7年4月14日(月) 〔春のウォーキング〕 京都洛西竹林（阪急洛西口→樫原廃寺跡→西の丘竹林道→阪急洛西口）約5.5km	15名	
	・ 令和7年10月20日(月) 〔秋のウォーキング〕 山科疎水（地下鉄蹴上→日ノ岡→疎水→天智天皇陵→安祥寺→JR山科）約6.5km	15名	
	② 目標歩数歩こう会		
	・ 第53回 令和7年4月1日～5月31日迄 ・ 第54回 令和7年10月1日～11月30日迄	9名 休会	
地域活動 (3回/年)	① 令和7年5月23日（金） 「春季地域活動」 大山崎町 観音寺、宝積寺を散策	24名	
	② 令和7年10月9日（金） 「秋季地域活動」 第2回京都薬科大学 日野薬草園見学	14名	
	③ 令和7年11月28日（金） 「秋季地域活動」 武田薬品工業（株）京都薬用植物園見学	32名	

## 令和7年度 業務報告

部 門	業 務 内 容
大学業務	<p>1. 同窓研修会による企画及び運営</p> <p>京都見聞コース（座学1回、現地研修16回）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◦ 見聞セミナー（ハートピア京都にて座学）（5月）</li> <li>◦ 泉涌寺（5月）                      ◦ 黄檗山萬福寺（6月）   ◦ 三千院・勝林院（6月）</li> <li>◦ 醍醐寺（6月）                      ◦ 南禅寺（7月）           ◦ 石清水八幡宮（9月）</li> <li>◦ 下鴨神社（10月）                  ◦ 松尾大社（10月）       ◦ 鞍馬寺（11月）</li> <li>◦ 智積院（12月）                   ◦ 妙心寺（1月）           ◦ 大徳寺・大仙院（1月）</li> <li>◦ コース会（懇親会）：聖護院御殿荘（6月）</li> <li>◦ バス研修旅行：浄瑠璃寺・岩船寺（11月）</li> <li>◦ 京菓子作り体験：甘春堂（12月）</li> <li>◦ 京料理賞味体験：平八茶屋（2月）</li> </ul> <p style="text-align: right;">*カッコ内は実施月を示す</p>
	<p>2. SKYシニア大学運営協力</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>① 歴彩・京都学コース</li> <li>② アクティブシニアライフコース</li> <li>③ スポーツコース</li> <li>④ 自然体験コース</li> <li>⑤ 健康長寿コース</li> <li>⑥ 特別講座</li> </ul>
会員業務	<p>1. 会員募集                      令和7年度会員 318名</p> <p>2. 会員の入会・退会管理、会員名簿の作成・管理</p> <p>3. 会員宛通達文書・連絡文書の発送</p> <p>4. 会員の懇親・交流</p>

# 令和7年度 収支決算報告書

自 令和 7年 4月 1日  
至 令和 8年 3月31日

(単位：円)

## <収入の部>

科目	予算額 (A)	実績額 (B)	対予算残 (B-A)	摘要
会費収入	720,000	636,000	-84,000	会費 一人2,000円
事業負担金収入	1,800,000	1,896,600	96,600	バス見学研修旅行参加費、その他行事参加費
雑収入	0	1,697	1,697	普通預金利息
前年度繰越金	776,931	776,931	0	
収入合計	3,296,931	3,311,228	14,297	

## <支出の部>

科目	予算額 (A)	実績額 (B)	対予算残 (B-A)	摘要
事業費	2,060,000	1,884,789	-175,211	
バス見学研修費	1,800,000	1,598,646	-201,354	バス見学研修旅行費用 3回
会誌発行費	120,000	83,880	-36,120	会誌「ざんぐり」発行費用 4回
健康福祉活動経費	15,000	12,095	-2,905	活動経費 2回
地域活動費	15,000	27,967	12,967	活動経費 2回
講演会費	80,000	153,731	73,731	セミナー開催経費 5回
SKYフェスタ関係費	30,000	8,470	-21,530	SKYフェスタ出展経費
会議費	200,000	225,517	25,517	
総会費	100,000	83,067	-16,933	会場費、総会出欠返信用はがき、講師謝礼、
その他会議費	100,000	142,450	42,450	理事会会議室使用料、福祉行事保険料
管理運営費	370,000	318,809	-51,191	
通信運搬費	200,000	230,615	30,615	会誌・行事案内等発送費、郵便代
支払手数料	50,000	40,294	-9,706	郵便振替払込手数料(会費)
消耗品費	40,000	12,001	-27,999	発送用封筒、プリンターインク、USB
印刷費	50,000	31,899	-18,101	印刷機・コピー機使用料
雑費	10,000	4,000	-6,000	会計監査経費
予備費	20,000	0	-20,000	
支出合計	2,630,000	2,429,115	-200,885	
次年度繰越金	666,931	882,113		

## 貸借対照表

(令和 8年3月31日)

(単位：円)

借方		貸方	
勘定科目	金額	勘定科目	金額
普通預金	1,432,423	仮受金(次年度会費等)	698,000
郵便貯金	147,690	積立金	0
定期預金	0	繰越金	882,113
合計	1,580,113	合計	1,580,113

## 令和8年度 行事計画

部 門	行 事 内 容
研修講座	<p>① 令和8年4月24日（金）</p> <p>演題： 「ヒトゲノム30億文字がつむぐところとからだ」</p> <p>講師： 東海大学医学部基礎医学系分子生命科学客員教授 権藤洋一氏</p> <p style="text-align: center;">会場：ハートピア京都3F 大会議室</p> <p>② 講演会 ミニ講座予定</p> <p style="text-align: center;">京都府立植物園 京都市動物園 京都市青少年科学センター</p> <p>上記 三館において、科学的視野で様々な事象を学び、科学と文化を併せ持って社会や自然と向き合い、豊かさや喜びを生み出す活動をする。</p>
研修旅行 (3回/年)	<p>多くの会員の皆様にご参加いただけるよう、行く先、実施内容等を吟味してそれぞれ提案させていただきます。</p> <p>① 令和8年5月25日(月) 奈良方面</p> <p style="text-align: center;">大和郡山「大河ドラマ館」、城址、「シャープミュージアム」見学、山の辺の道散策</p> <p>② 令和8年10or11月実施予定 9月発行「ざんぐり」で案内書発送</p> <p>③ 令和9年1 or2月実施予定 12月発行「ざんぐり」で案内書発送</p>
健康福祉 (3回/年)	<p>① ウォーキング</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 令和8年4月20日(月) 〔春のウォーキング〕</li> <li style="padding-left: 20px;">鴨川河川敷北上（四条大橋→北山大橋）</li> <li>・ 令和8年10月26日(月) 〔秋のウォーキング〕</li> <li style="padding-left: 20px;">嵐山嵯峨野周辺実施予定</li> <li>・ 令和9年2月22日(月) 〔新春ウォーキング〕</li> <li style="padding-left: 20px;">宇治大吉山周辺実施予定</li> </ul>
地域活動 (2回/年)	<p>① 清水焼絵付け体験と清水焼団地の散策</p> <p style="text-align: center;">令和8年7月24日（金）</p> <p>② 武田薬品工業（株）京都薬用植物園の見学</p> <p style="text-align: center;">令和8年11月実施予定</p>

## 令和8年度 業務計画

部 門	業 務 内 容
大学業務	<p>1. 同窓研修会による企画及び運営</p> <p>新・京都見聞コース（座学1回、現地研修13回）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◦ ガイダンス：ハートピア京都・座学</li> <li>◦ 妙満寺（左京区）                      ◦ 藤森神社（伏見区）                      ◦ 松尾大社（西京区）</li> <li>◦ 黄檗山萬福寺（宇治市） ◦ 醍醐寺（伏見区）                      ◦ 泉涌寺（東山区）</li> <li>◦ 安祥寺（山科区）                      ◦ 真如堂（左京区）                      ◦ 興聖寺（宇治市）</li> <li>◦ 特別イベント 高台寺（東山区）</li> <li>◦ 京都の伝統工芸を学ぶ：京都伝統産業ミュージアム（左京区）</li> <li>◦ 懇親会：聖護院御殿荘（左京区）</li> <li>◦ 京菓子作り体験：甘春堂（東山区）</li> </ul> <p style="text-align: right;">*カッコ内は住所を示す</p>
	<p>2. SKYシニア大学運営協力</p> <p>「運営員による、運営協力」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>① 歴彩・京都学コース</li> <li>② アクティブシニアライフコース</li> <li>③ スポーツコース</li> <li>④ 健康長寿コース</li> <li>⑤ 特別講座</li> </ul>
会員業務	<p>1. 会員募集                                      令和8年度会員目標 350名</p> <p>2. 会員の入会・退会管理、会員名簿の作成・管理</p> <p>3. 会員宛通達文書・連絡文書の発送</p> <p>4. 会員の懇親・交流</p>

## 令和8年度 収支予算

自 令和 8年 4月 1日

至 令和 9年 3月31日

(単位： 円)

### <収入の部>

科 目	前年度予算	前年度実績	今年度予算	摘 要
会 費 収 入	720,000	636,000	700,000	令和8年度会費
事業負担金収入	1,800,000	1,896,600	2,000,000	バス見学研修旅行参加費、その他行事参加費
雑 収 入	0	1,697	0	普通預金利息
前年度繰越金	776,931	776,931	882,113	
<b>収 入 合 計</b>	<b>3,296,931</b>	<b>3,311,228</b>	<b>3,582,113</b>	

### <支出の部>

科 目	前年度予算	前年度実績	今年度予算	摘 要
<b>事 業 費</b>	<b>2,060,000</b>	<b>1,884,789</b>	<b>2,100,000</b>	
バス見学研修費	1,800,000	1,598,646	1,800,000	バス見学研修旅行費用 年3回
会誌発行費	120,000	83,880	100,000	会誌「ざんぐり」発行費用 年4回
健康福祉活動経費	15,000	12,095	20,000	活動経費等
地域活動費	15,000	27,967	30,000	活動経費等
講演会費	80,000	153,731	150,000	セミナー開催経費
SKYフェスタ関係費	30,000	8,470	0	SKYフェスタ出展経費
<b>会 議 費</b>	<b>200,000</b>	<b>225,517</b>	<b>250,000</b>	
総 会 費	100,000	83,067	100,000	会場費、総会出欠返信用はがき、講師謝礼
その他会議費	100,000	142,450	150,000	理事会等会議室使用料、福祉行事保険料
<b>管 理 運 営 費</b>	<b>370,000</b>	<b>318,809</b>	<b>400,000</b>	
通信運搬費	200,000	230,615	240,000	会誌・行事案内等発送費、郵便代
支払手数料	50,000	40,294	50,000	郵便振替払込手数料(会費)
消耗品費	40,000	12,001	30,000	発送用封筒、宛名ラベル、事務用品等
印刷費	50,000	31,899	50,000	印刷機・コピー機使用料
雑 費	10,000	4,000	10,000	会計監査会場費等
予 備 費	20,000	0	20,000	
<b>支 出 合 計</b>	<b>2,630,000</b>	<b>2,429,115</b>	<b>2,750,000</b>	
<b>次年度繰越金</b>	<b>666,931</b>	<b>882,113</b>	<b>832,113</b>	



## 令和8年度 京都スカイ大学同窓研修会 総会記念講演会

日 時： 令和8年4月24日(金)  
午後3時から4時  
場 所： 京都府立社会福祉会館  
ハートピア京都 3階 大会議室  
演 題： ヒトゲノム30億文字がつむぐ  
こころとからだ  
講 師： 権藤 洋一 氏  
東海大学医学部客員教授  
受講者数： 60人

### 【報告】

「みえないけれどもあるんだよ体の奥深くにある神秘的な世界！！」というキャッチコピーで案内した今回の講演会、「ヒトゲノムとは何？」少し、興味や関心をもって参加していただいたのではと思います。最近、テレビの放送でも、生命の設計図、ゲノムが放送され、ゲノムという言葉が、日常的にも目に触れるようになりました。

講演を企画した者として、そもそもの発案の動機は、児童とともに観察した、植物の細胞の核を電子顕微鏡で観察したこと、至難の業でレンズの焦点を核に合わせ、美しい核の姿が見えた時の感動は、心躍る気持ち、思わず感嘆の声、そのようなことから始まりました。そしてゲノムの言葉に触れたのは、原始時代の人骨から採取したヒトゲノムをデータ処理して、人の進化を提示した特別展に参加、そして、別会場で、DNA 二重らせん構造に触れたことから、今回の講師の先生をお招きしての講演会につながりました。

さて、講演内容をつぶさに分かりやすく記述するのは、至難の業としか言いようがありません。

正直、分かったような気がするだけで、いざ、説明となると、事難しい。受講者のアンケートにも難解の言葉が記載されていました。

でも、文言では難しい内容でも、多くのゲノムに関する映像、詳細な資料、ゲノム本体の模型等々を知ることで、ゲノムの世界観が見えてきたように思います。そして、神秘の一つは、30億の文字が、現在は、それ以上のようなのですが、映像で映る、気が遠くなるような文字群、マウスの実験として、1文字を変化させるだけで、マウスの性質が変化する様子を見て、受講者は驚きの表情を、高等な動物ほど、配列は複雑で

あるとのこと、ヒトゲノムの全DNA30億文字を 1mmきざみで線路の上に並べていくとちょうど根室から鹿児島まで(30 億mm!)並ぶと、配布された資料に書かれていました。

1865 年、メンデルは、エンドウ豆を用いて遺伝の法則を発見しました。人間でいえば、両親から受け継ぐ遺伝子、その解明もゲノム研究と併せ、未知数のところがあり、解明を目指してゲノム研究は進んでいるようです。

「遺伝子」と「遺伝」とは違う？カエルはカエルの子であり他の生物からカエルは生まれませんが、固有差(身長差、髪の色)の違い等々、与えられた遺伝と環境のもとで遺伝子機能発現は変化すると資料に記述されていました。

そのことに関連することですが、鳥ゲノムについての展示会場で、8000m 級の山が連なるヒマラヤ山脈の上空を渡る鳥、世界最小のアネハヅル、酸素が薄い上空をなぜ飛来できるのか？ 進化の過程で血液中のヘモグロビンの酸素量が人より多く特殊な機能を身に着けた結果であることが分かったと、まさしく環境に適応した進化の過程を鳥の生態から知ることができました。

そして、講演会場では、アメリカと日本人の国民性の違いまで、ゲノムの違いに関連している可能性があるかと報告されているそうです。

冒険好き好きな遺伝子を持つ人がアメリカ国民には多く、一方で、慎重な性格になる遺伝子は日本国民の方に多い可能性があるとか、マウスをモデルとしてその解明にも少しずつ進んでいるそうです。

1 時間の講座、片時も気を許すことなく、好奇の目で話に集中する姿があり、ゲノム講座の入門としての成果はあったように思えます。世の中、日進月歩、月の裏側を人間の目で見ることができるようになりました。知識は、力なり、正しく認識し、古きを訪ねて新しきを知る。この心意気で次の学習につなげたいと思います。 文： 岩本照美

講師のプレゼンでも紹介された文科省のサイト



## 特別講座『認知症になっても活躍できる社会を目指して』

「まあいいか」が世界を変える

日時 2026年1月26日

講師 まあいいか labo 平井万紀子代表



講師の平井万紀子さんは2014年に、認知症と診断されたお母様との同居をスタートされました。

お母様との同居は、それまでのお母様が築いてこられた地域とのつながりを奪うことになるのではないかと不安があったということです。お母様の「まだまだ働きたい」という想いに、働くことを通して「人と接する、社会とつながる」ことができるのではないかとお母様ができる仕事を模索されているときに認知症の人がホールスタッフをつとめる「注文を間違える料理店」の存在を知り、インスパイアされ「注文を間違えるレストラン」「まあいいかcafé」の活動を始められました。



認知症の人がスタッフとして働くcaféは注文を間違えたり、忘れたり、それでも「まあいいか」と間違えたことを楽しみ受け入れることで、みんながお互い温かく楽しくなる場となります。

認知症になれば「介護される人、何も出来なくなる人」と思っていたけど、認知症の人は「できないこともあるけど、できることも沢山あるんだ」と同居して実感されたそうです。



今回、平井さんが一番言いたいこと「She is 認知症」；彼女は丸ごと認知症ではなく、

「She has 認知症」；彼女は認知症という一つの病を持った人として、社会が受け入れ、許容できる社会になれば、認知症の人だけでなく社会全体がもっと暮らしやすくなるということでした。



### 「まあいいか」の由来

私たち社会の側が、「まあいいか」と受け止めることができれば、実は問題じゃなくなるものがたくさんあるんじゃないか、当事者の側でなく、社会の側に課題があるんじゃないか

### 【講座を受けて】

私の母も認知症で施設での生活を送っていました。

私の名前も、自分の子どもであるということも忘れた母でしたが、施設に面会に行くと、私の姿を見るところぼれるような笑顔になり迎えてくれました。ほとんどの記憶が消えても、「この人は私にとって心安らぐ、安心できる存在だ」という想いは最後まで消えないんだと実感しました。

認知症を疑いだした頃からほとんどの記憶がなくなるまでの間、私は母とどう接したか、平井さんのように母のために何かをしようと努めたか、というと、「認知症＝わからなくなっていく人」と決めつけ受け入れてきたな、と反省もし、後悔を感じた講演でした。

文 西峯 順子

# 2026 年新春バス研修旅行 兵庫県、赤穂方面

1 月 30 日 白石宣子

2026 年 1 月 30 日、同窓研修会のバスは兵庫県赤穂市に向かって出発。



赤穂大石神社

まずは、広々とした赤穂城跡公園に到着。城内にある「赤穂大石神社」に徒歩にて参拝。忠臣蔵で名高い四十七義士の石像が両



側に居並ぶ中を通り「大願成就」を祈りました。

赤穂城は元より天守は構築せず

建物も現存しないので、復元された石垣や、複雑に折れ曲がり角度を違えた諸門が印象的でした。戦を強く意識した海岸平城



赤穂城門(復元)

であったことが偲べれます。

ガイドさんより赤穂は巨大火山

陥没地形であ 大石内蔵助屋敷長屋門り恐竜時代のカルデラの中にできた町と聞き大変驚きました。

バスにて「赤穂市立海洋科学館」へ移動。「揚浜式」「入浜式」「流下式枝条架」などの塩田も美しく見ることが出来、約 30 分程で海水(塩分 18%にしたもの)が塩になる



流下式枝条架塩田

までの、塩造り体験は貴重でした。

最後の立ち寄り先は道の駅「あいおい白龍城」ペーロン城と呼びます。中国宮廷様式の建物は、道の駅内の温泉施設です。我々は買物だけの立ち寄りでしたが、始めて見て、聞き、造るの体験、同窓研ならではの経験をさせていただきました。



## 2026年1月30日 ミニ講座 ようこそ水族館へ 2

講師 京都水族館副館長 河崎 誠 記氏  
京都水族館獣医師 山田 研 祐 氏



2026 年年明けの初めての研修講座は、「ようこそ水族館へ2」というテーマで昨年に引き続き京都水族館で研修を行いました。当日、天気は晴れていたものの、厳しい寒さの日でしたが、参加者は 22 名で、熱心に学んでいました。



2 班に分かれてお話を伺いましたが、私のグループは、最初に副館長の河崎様から、主に京都鴨川にいるオオサンショウウオについて話を伺いました。元来は、日本固有種のオオサンショウウオしかいなかったのですが、中国産のオオサンショウウオが入ってきて、繁殖力も強く、今では交雑種が約 8 割を占めているとのことでした。このままでは、日本在来種のオオサンショウウオが絶滅してしまう可能性があるとの事で、京都水族館では保護をしようと努めているそうです。一つの種別が絶滅してしまうともう二度と復活しないので、大変な事態となります。

また、イクラの孵化する様子なども見ることができました。水の温度が累計 480 度に達すると孵化する事など興味深いことを教えていただきました。

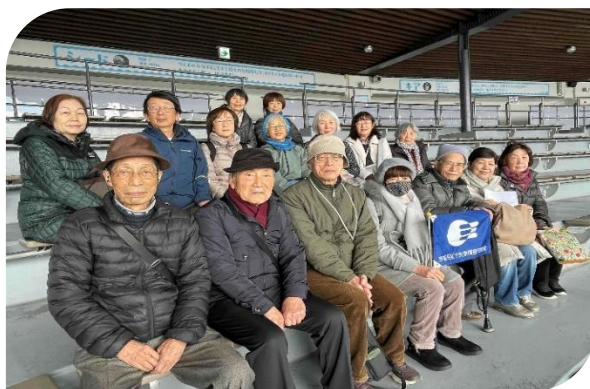
ただ、元々は京都府の北を流れる由良川に遡上してくるシロザケのタマゴを孵化させていたそうですが、地球温暖化の影響により、今年は北海道の千歳川を遡上するサケのタマゴを譲ってもらっているそうです。サケばかりでなく、日本の海を取り巻く魚は、現在どんどん変化しているそうです。私も以前に鯖街道沿いのお店でサバ寿司を食べた時に、サバも若狭湾ではとれず、輸入していることを聞き驚きましたが、気候変化が今後の私たちの食生活にも大きな影響を与えていきそうです。

次に水族館で獣医をされている田中先生からレクチャールームで資料を使ってお話を伺いました。先生が診られているのは主にイルカやオットセイなどの哺乳類でした。その生態を観察しながら、飼育員でもあるので日々の餌やり、病気の診断や必要な注射などもされるとのことで、その様子の動画を見せていただきました。フランクな話し方でわかりやすく獣医師の仕事の一端を学びました。また、先生ご自身の獣医師を目指した理由や職場として水族館を選んだ理由なども教えていただき、とても興味深かったです。将来は、館長を目指すという明快な目標もあり、その若さを羨ましく思いました。

最後にイルカスタジアムで、「音楽の時間」というイルカの声や音に注目しながら、その泳ぐ様子を観賞しました。トレーニングを通じてのトレーナーの方とイルカの絆の強さ、ここまで意志疎通ができることに感動しました。



最後に京都水族館の皆さま、私たちのために、このように学びの多い機会をいただきありがとうございました。



文：丸山 恭一

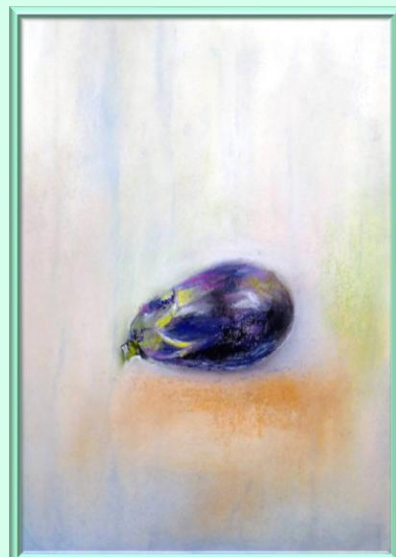
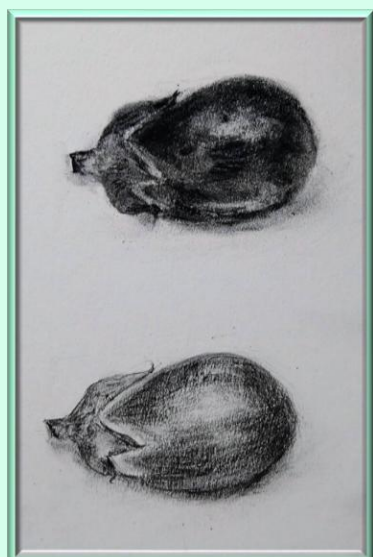


# Small talk room

いつもそばにいてくれる私の絵、  
そして、絵を介して出会う人との交流！！

ふりかえれば、いつから描くことに興味を持ったかな・・・

幼少期、近所のお姉さんのモナリザの模写に感動、  
故郷の中学校の高台から春霞の田園の風景を描き、作品を絶賛された絵の先生との出会い。  
それから、縁側に座り、四季折々変わる里山の景色を描くことに楽しさを覚えたように思える。  
故郷を離れても描くことへの関心は薄れず、様々な絵の先生方との出会いで絵を描いてきた。  
その中のお気に入りの作品を紹介させていただきます。





画 岩本 照美








#### 原稿送付のご案内

メール：[skydosoken@gmail.com](mailto:skydosoken@gmail.com) Word・Excel・写真類はJPG形式で

郵送：〒604-0874 京都市中京区烏丸通丸太町下ル

ハートピア京都2階 京都SKYセンター内

京都SKY大学同窓研修会「ざんぐり」編集係宛

-  原稿に関連した写真も添えて下さい。
-  メール、郵送とも、お名前、連絡先（ 番号）を明記ください
-  匿名を希望される方は、その旨明記ください
-  投稿は同窓研修会会員限定とさせていただきます。
-  投稿多数の場合は編集担当による選考となります。
-  お送りいただいた原稿の返却は致しかねますのでご了承下さい。

# 事務局便り

行事予定・ほか



## \*地域活動

・開催日  
・行先

\* 詳細は同封しました別紙を参照して下さい。

2026年 7月24日(金)  
清水焼絵付け体験と清水団地の散策



## 特別講座のご案内

2026年6月22日(月) 寛永行幸四百年の節目を迎えて

国際日本文化研究センター副所長・教授 フレデリック・クレインス 氏

2026年9月7日(月) 芸術による新たな空間の創出

京都市立芸術大学学長 小山田 徹 氏

いずれも、会場は京都テルサホール、時間は14:30~16:00です。

京都SKYシニア大学の各コースを受講されている同窓研修会会員の方は、申し込みの必要はありません。大学を受講されていない会員の方は、実施日の10日前までに、往復はがき又は、ショートメールで申し込んで下さい。

特別講座名(いずれか、又は両方)・氏名・住所(往復はがきの場合は返信用宛名にも)・電話番号を明記し、同窓研修会宛にお送り下さい。

岩本照美 Tel090-2285-2265 (ショートメールでの申込はこちら)

当日は京都SKY大学同窓研修会会員証をお持ちください。

**! SKYセンターへの申込は、同窓研の会員以外の扱いになり有料となります。**



## お知らせ

いつも機関誌ざんぐりをご覧いただきありがとうございます。

皆さまの声をもっと反映するための、ご意見・ご要望をお気軽にお寄せください。

投稿先メールアドレス: skydosoken@gmail.com \*Word、Excel、写真はJPG形式で

郵送: 604-0874 京都市中京区烏丸通丸太町下ルハートピア京都2階京都SKYセンター内

京都SKY大学同窓研修会「ざんぐり」編集係宛

お名前、電話番号を明記。匿名を希望される時はその旨ご明記ください。

投稿は同窓研修会会員限定とさせていただきます。

投稿多数の場合は編集部により選考となります。原稿の返却は致しかねます。

発行 / 京都SKY大学同窓研修会

編集 / ざんぐり編集委員会

☎604-0874 京都市中京区烏丸通丸太町下ル ハートピア京都2階

公益財団法人 京都SKYセンター内 ☎075 (241) 0226 FAX 075 (241) 0204

